

SDGs未来都市



こおりやま



～気候変動対応型SDGs未来都市の実現に向けて～

2020.1.20(月)

公益社団法人福島県宅地建物取引業協会郡山支部 新春セミナー



郡山市長 品川 万里

PHOTO: photo_booooy(郡山市観光協会公式SNSアンバサダー)@猪苗代湖

本日の内容

1 気候変動対応への重要性
～台風19号による被害への対応～

2 気候変動対応型SDGs未来都市の
実現に向けて

はじめに

1 気候変動対応への重要性
～台風19号による被害への対応～

2 気候変動対応型SDGs未来都市の
実現に向けて

台風19号の本市への接近・通過

2019年10月12日（土）午後
～
2019年10月13日（日）未明
にかけて本市へ接近・通過

郡山市における降水量

（1）降水量（12日正午から13日午前4時まで）

- ・中田ふれあいセンター（東部） 284.5mm
- ・芳賀地域公民館（東部） 281.5mm
- ・谷田川小学校（東部） 274.5mm
- ・福島河川事務所（北部） 218.0mm
- ・郡山市役所（中央） 173.0mm

※出典：気象庁をはじめ国県市が設置する雨量計データ

◆気象庁発表の12時間降水量（13日午後1時までの降水量）

◆170.5mm:観測史上1位

◆阿武隈川上流域での降水状況

【白河市】

○降水量:225.5mm

※2019年10月12日 午後10時までの6時間降水量

○観測史上1位の降水量

○下流域の鏡石町において阿武隈川決壊



阿武隈川の決壊（鏡石町内）

【須賀川市】

○降水量:165.5mm

※2019年10月12日 午後10時までの6時間降水量

○観測史上1位の降水量

○須賀川市内において阿武隈川決壊



阿武隈川の決壊（須賀川市内）

◆郡山市内の主な被害状況（その1）

【人的被害】

（1）死者 6名、（2）負傷者 1名

【家屋被害】

（1）浸水被害：21,331世帯（全世帯の14.9%）



水没した住宅街（安積町日出山付近）

（2019年10月13日
陰山建設㈱撮影）

【市道道路被害】

（1）合計 530件（法面崩壊、倒木、冠水など）



水没した美術館通り（向河原町付近）

（2019年10月13日
陰山建設㈱撮影）

【河川被害】

（1）国土交通省管理河川

- ・阿武隈川：越水＝6箇所、溢水＝1箇所



阿武隈川（安積町日出山付近）

（2）福島県管理河川

- ・谷田川：決壊＝2箇所（2019年10月13日
陰山建設㈱撮影）
- ・藤田川：決壊＝1箇所
- ・逢瀬川：越水（若葉町、富久山町久保田付近）
- ・笹原川：越水（安積一丁目付近）

（3）郡山市管理河川

- ・決壊等なし



逢瀬川（向河原町付近）

（2019年10月13日 陰山建設㈱撮影）

◆郡山市内の主な被害状況（その2）

【企業等被害】

◆被害総額 **440億811万円**

<内訳>

(1)郡山中央工業団地

- ・被害件数 234件
- ・被害額 383億9,530万円



阿武隈川・谷田川（中央工業団地）

(2)郡山食品工業団地

- ・被害件数 4件
- ・被害額 1億383万円 （2019年10月13日
株式会社スペースワン撮影）

(3)商工会議所及び商工会

- ・被害件数 328件
- ・被害額 58億898万円

【農産物等被害】

(1) 被害総額 30億663万円

※農作物、畜産物、農業施設、林道、機械 等



水害により多くの農地や機械が被災
（郡山市撮影）

【公共施設被害】

(1) 合計 33件（学校、庁舎、衛生施設等）



市内の小学校3校が被災
（郡山市撮影）

【災害ごみの発生】

(1) 搬出総量 14,859 t （業者・自衛隊搬入分のみ）

※年間ごみ排出量の1/10を超える量

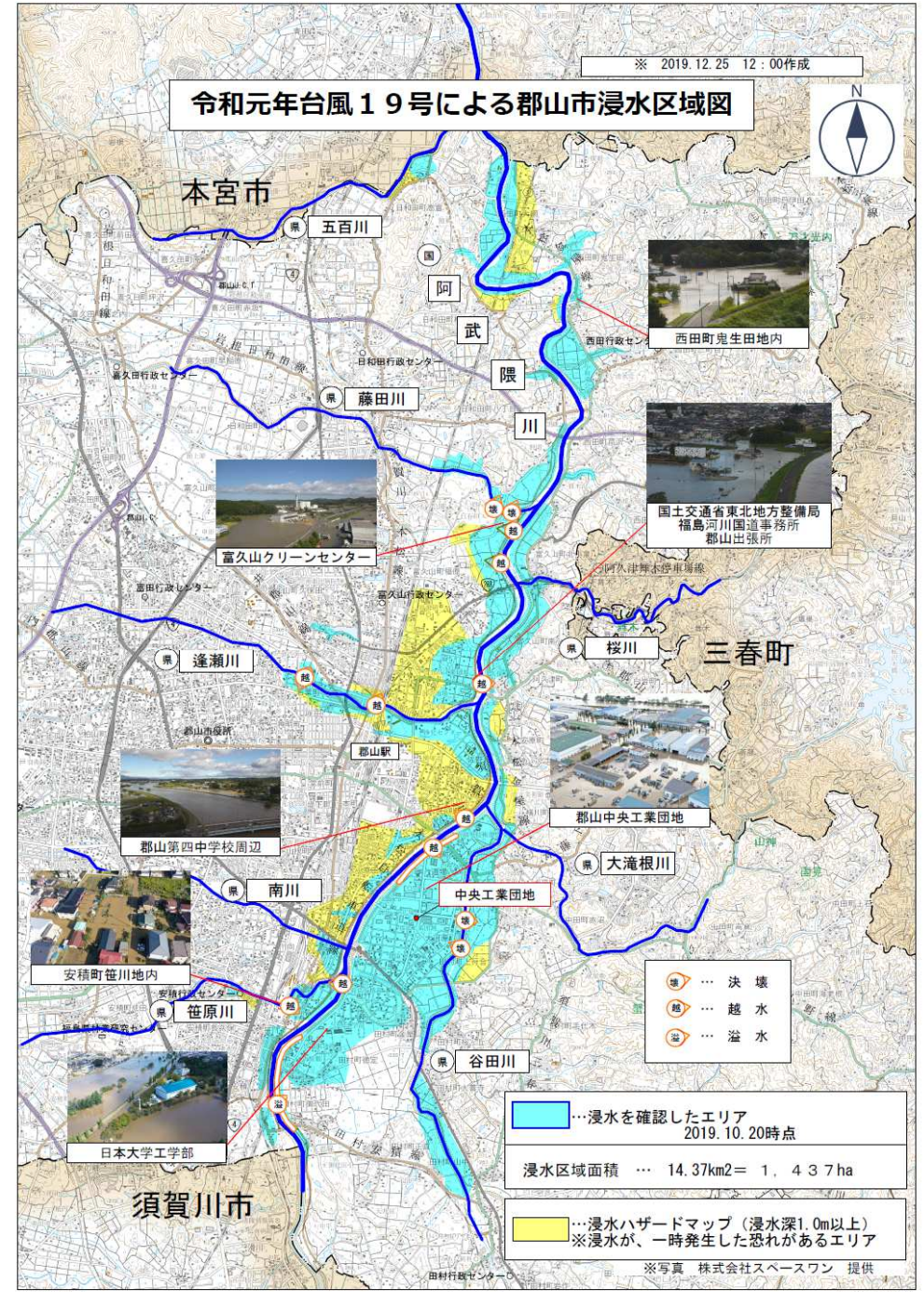
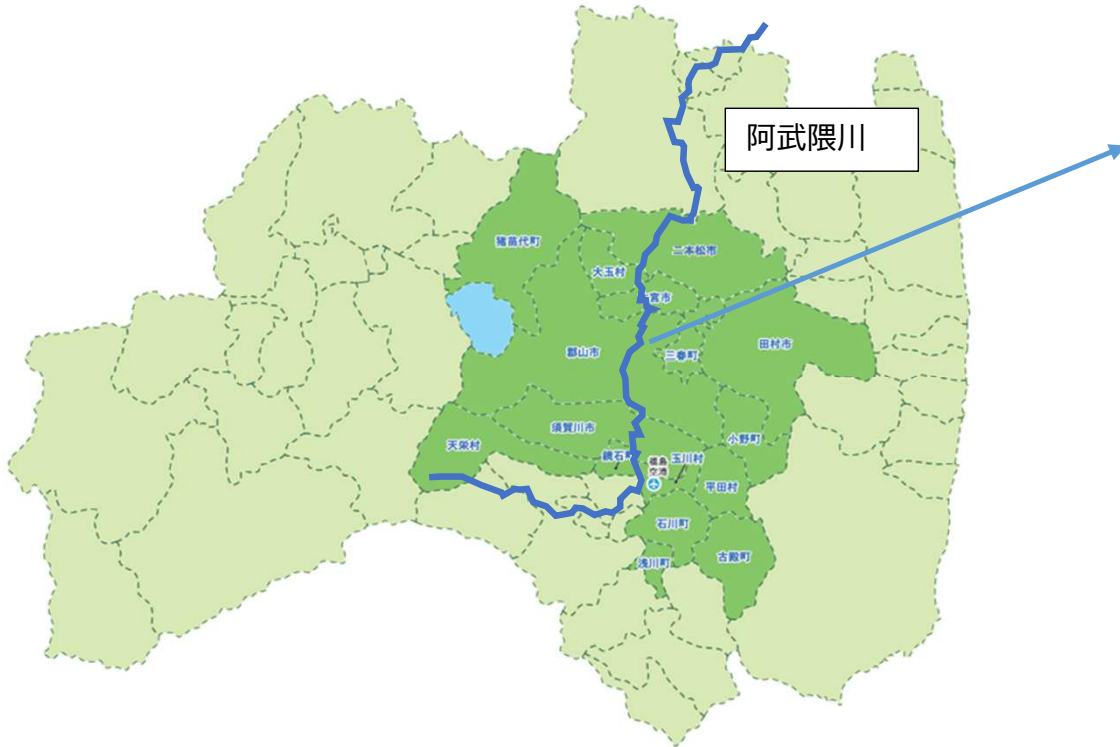
※個人の自己搬入分は含まず



市内8か所の仮置き場が閉鎖され、現在、2か所で受け入れ
（郡山市撮影）

台風19号被害による甚大な被災状況(浸水区域図)

【こおりやま広域連携中枢都市圏区域図】



台風19号による甚大なる被害状況(写真撮影:10/13)

◆被災写真(市街地)



市内向河原町(逢瀬側)付近(ラウンド1付近)



田村町徳定(阿武隈川)付近



安積町日出山(阿武隈川)付近



富久山クリーンセンター(阿武隈川)付近

台風19号による甚大なる被害状況(写真撮影10/13)

◆被災写真（農地・工業団地・決壊した堤防・水没した道路）



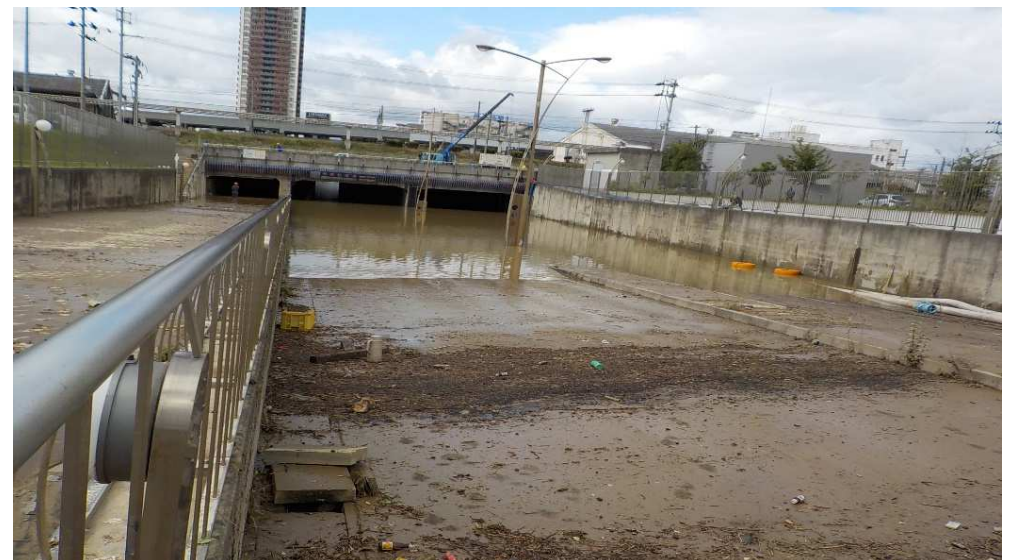
市内阿久津町（阿武隈川）付近



中央工業団地（阿武隈川・谷田川）付近



中央工業団地（谷田川の堤防決壊）付近



向河原大町線（逢瀬川）付近

1 災害救助法の法適用日・・・2019年10月12日

※概要：法の適用により、救助の実施主体が市町村から県に移行。

※救助の種類：避難所・応急仮設住宅の供与、医療・助産、食品の給与 など

2 特定非常災害の指定日・・・2019年10月18日

※運転免許のような許認可等について、存続期間（有効期間）が最長で令和2年3月31日（火）まで延長された など

3 激甚災害の指定日・・・・・・・・・・2019年11月1日

※指定により国庫補助率の嵩上げ措置が適用され、地方財政の負担が軽減される。

◆時系列に対応状況を表示（10/10 ～ 10/15）

10/10 ◆第1回緊急防災会議

- ・市民への身の安全を守るための情報周知
- ・職員の緊急召集体制の徹底
- ・各施設の点検及び安全確認を徹底
- ・避難所の事前開設決定：5箇所



緊急防災会議の様子

10/11 ◆第2回緊急防災会議

- ・危険箇所の点検強化
- ・関係機関、団体との連携体制・情報共有
- ・避難所の円滑な運営

◆避難所開設

- ・最大避難所設置数： 42箇所（10/13、13:00）
- ・最大収容人数： 3,973名（ // ）

10/12 ◆第1回災害対策本部会議（現在まで33回開催）

◆住民避難情報の発令（発令回数：16回）

10/12午後

10/13未明

台風19号 接近・通過



災害対策本部の様子

10/15 ◆総合相談窓口・コールセンターの開設（正庁）

- ・り災証明書の申請、税の減免、災害見舞金・貸付金、農業・産業
上下水道・住宅、子育て・教育、ボランティア、衛生・健康・災害ごみ

◆災害ごみの回収開始



総合相談窓口の様子

◆時系列に対応状況を表示（10/15 ～ 1/9）

10/15 ◆安倍首相への被災状況説明

- ・避難所、中央工業団地などを視察

10/18 ◆り災証明の電子申請開始

- ・窓口まで足を運ぶことなく便利に。

◆他自治体からの応援職員

- ・り災証明の申請受付、現地確認、発行 など

10/23 ◆中央省庁への緊急要望

- 10/24
- ・総務省ほか7省庁へ緊急要望（こおりやま広域圏）
 - ・根本元厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣など対応

～

11/6 ◆国務大臣等及び福島県知事への被災状況説明

- ・前田泰広中小企業庁長官、小泉進次郎環境大臣、福島県知事
御法川信英国土交通副大臣、片山さつき前内閣府特命担当大臣
梶山弘志経済産業大臣、江藤拓農林水産大臣、長谷川岳総務副大臣

11/19 ◆企業・事業者経営相談窓口の開設

11/25 ◆衆議院災害対策特別委員会への緊急要望

11/26 ◆梶山弘志経済産業大臣に対する緊急要望

11/29 ◆福島県知事への緊急要望

12/4 ◆阿武隈川上流大規模氾濫に関する減災対策協議会

12/16 ◆富久山クリーンセンター焼却施設仮復旧

12/24 ◆国土交通省郡山国道事務所長へ要望書提出

1/9 ◆郡山中央工業団地相談サテライトオフィス開設



安倍首相への被災状況説明



こおりやま広域圏の市町村長による中央省庁への緊急要望（環境省）

◆災害対策本部会議の開催状況

(1)緊急庁内防災会議

- 第1回 緊急庁内防災会議開催 10月10日(木) 16:00
- 第2回 緊急庁内防災会議開催 10月11日(金) 14:30

(2)災害対策本部会議

- 第1回 災害対策本部会議開催 10月12日(土) 14:00
- 第2回 災害対策本部会議開催 10月12日(土) 19:30
- 第3回 災害対策本部会議開催 10月13日(日) 6:00
- 第4回 災害対策本部会議開催 10月13日(日) 14:30
- 第5回 災害対策本部会議開催 10月14日(月) 14:00
- 第6回 災害対策本部会議開催 10月15日(火) 12:50
- 第7回 災害対策本部会議開催 10月16日(水) 13:30
- 第8回 災害対策本部会議開催 10月17日(木) 13:30
- 第9回 災害対策本部会議開催 10月18日(金) 13:30
- 第10回 災害対策本部会議開催 10月19日(土) 13:30
- 第11回 災害対策本部会議開催 10月20日(日) 13:30
- 第12回 災害対策本部会議開催 10月21日(月) 13:30
- 第13回 災害対策本部会議開催 10月22日(火) 13:30
- 第14回 災害対策本部会議開催 10月23日(水) 13:30
- 第15回 災害対策本部会議開催 10月24日(木) 13:30
- 第16回 災害対策本部会議開催 10月25日(金) 13:30
- 第17回 災害対策本部会議開催 10月28日(月) 15:00

- 第18回 災害対策本部会議開催 10月31日(木) 13:30
- 第19回 災害対策本部会議開催 11月5日(火) 13:30
- 第20回 災害対策本部会議開催 11月7日(木) 13:30
- 第21回 災害対策本部会議開催 11月11日(月) 13:30
- 第22回 災害対策本部会議開催 11月14日(木) 13:30
- 第23回 災害対策本部会議開催 11月18日(月) 13:30
- 第24回 災害対策本部会議開催 11月21日(木) 13:30
- 第25回 災害対策本部会議開催 11月28日(木) 13:30
- 第26回 災害対策本部会議開催 12月2日(月) 13:30
- 第27回 災害対策本部会議開催 12月5日(木) 13:30
- 第28回 災害対策本部会議開催 12月12日(木) 16:00
- 第29回 災害対策本部会議開催 12月16日(月) 13:30
- 第30回 災害対策本部会議開催 12月19日(木) 13:30
- 第31回 災害対策本部会議開催 12月23日(月) 11:00
- 第32回 災害対策本部会議開催 12月26日(木) 13:30
- 第33回 災害対策本部会議開催 1月14日(火) 13:30



災害対策本部の様子

◆被災者支援メニュー

現在日:2020年1月8日

【総合相談窓口での項目別対応件数】

1	り災証明	3,138件
2	見舞金・貸付金	3,291件
3	税・国民健康保険	2,472件
4	子育て・教育	70件
5	上下水道・住宅	5,018件
6	産業・農業 <small>(担当課における相談含まず)</small>	181件
7	衛生・健康・災害ごみ	573件
8	その他	99件
合 計		14,842件

※上記件数には、相談及び申請件数が含まれる。



被災者支援総合窓口

◆り災証明書関係

現在日:2020年1月8日

【り災証明書の受付・発行状況】

1 受付件数

(1)	床上浸水	6,566件
(2)	床下浸水	858件
(3)	その他	935件
合 計		8,359件



コールセンター

2 発行状況

(1)	全 壊	1,342件
(2)	大規模半壊	1,982件
(3)	半 壊	4,812件
(4)	一部損壊	2,311件
(5)	無損壊	166件
合 計		10,613件



◆被災者支援メニュー

現在日:2020年1月8日

【個人】

- 1 見舞金・義援金(4種類)
- 2 被災者生活再建(1種類)
- 3 貸付金(1種類)
- 4 税・国民健康保険など(5種類)
- 5 子育て・教育(4種類)
- 6 上下水道(3種類)
- 7 住宅(10種類)
- 8 農業(3種類)
- 9 衛生・保健・災害ごみ・家屋等の
解体、撤去(5種類)
- 10 仕事(10種類)
- 11 その他のお知らせ(23種類)

現在日:2020年1月8日

【中小企業等】

- 1 事業継続、再開などについての相談(4種類)
- 2 施設の復旧費用を含む補助制度(8種類)
- 3 資金繰りや金融機関等への返済(12種類)
※郡山市の独自制度(信用保証料補助、利子補給等)含む
- 4 下請取引のトラブル(3種類)
- 5 リース関係のトラブル(1種類)
- 6 従業員の休業や離職に関する手当(2種類)
- 7 税金の申告・納付期限の延長等(3種類)
- 8 風評被害の払拭(1種類)
- 9 補助金の申請、その他手続き(1種類)
- 10 グループ補助金による復旧・復興(1種類)
- 11 持続化補助金による小規模事業者の
事業再建(1種類)

◆過去5年間に発生した大雨による大規模な災害（主なもの）

【2015年度(H27)】

◆**関東・東北豪雨**・・・鬼怒川の堤防決壊で家屋が流出等するなど、甚大な被害をもたらした。

【2016年度(H28)】

◆**台風第7号、第11号、第9号、第10号及び前線による大雨・暴風**・・・台風及び北海道地方に停滞した前線による大雨。農作物（ポテトチップス用のジャガイモなど）などへ甚大な被害をもたらした。

【2017年度(H29)】

◆**九州北部豪雨**・・・線状降水帯が形成され、福岡県と大分県で集中豪雨が発生し、甚大な被害をもたらした。

◆**西日本豪雨**・・・広島県、岡山県、愛媛県などに甚大な被害をもたらし、死者は200人越えた。水害による死者100人越えは平成に入ってから初、昭和期に遡っても長崎豪雨以来である。



赤谷川が氾濫し流木と土砂に埋もれた
(九州北部豪雨)

【2018年度(H30)】

◆**平成30年7月豪雨**・・・梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が大量に流れ込んだのが主因で、台風7号も影響。岡山県、広島県、愛媛県を中心に豪雨による土砂災害、浸水被害が発生し、甚大な被害をもたらした。

【2019年度(R元)】

◆**令和元年8月の前線に伴う大雨**・・・長崎県から佐賀県、福岡県までの広い範囲にかけて、長時間にわたる線状降水帯による集中豪雨が発生8月28日を中心として各地点で観測史上1位の記録を更新した。

◆**令和元年台風第15号**・・・本年9月に発生した関東上陸時の勢力では過去最強クラスの台風、特に千葉県で大きな被害をもたらした。

◆**令和元年台風第19号**・・・本年10月に発生した台風で、関東地方や甲信地方、東北地方（本市含む）などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした。

まとめ

1 気候変動対応への重要性
～台風19号による被害への対応～

2 気候変動対応型SDGs未来都市の
実現に向けて

◆世界的潮流

○2015年 9月

- ・国連において持続可能な開発目標(SDGs)を採択

○2015年12月

- ・「パリ協定」採択

→21世紀後半には温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す

○2018年12月

- ・「気候変動適応法」

→都道府県市町村による地域気候変動適応計画策定の努力義務

○2019年 6月

- ・「パリ協定」に基づく成長戦略としての長期戦略

→「脱炭素社会」の実現

○2019年 9月

- ・気候変動サミット開催
- ・主要経済国を含む90か国以上から首脳が参加
- ・日本から小泉環境大臣が出席
- ・環境活動家グレタ・トゥンベリさんが各国首脳らを前に演説

13 気候変動に
具体的な対策を

演説するグレタ・トゥンベリさん
出典：(株)毎日新聞

◆世界的潮流

全世代型健康都市圏の創造

- ・オープンデータを活用した広域医療等の分析（EBPM）
- ・ICTを活用した健康寿命延伸対策（EBM）

⇒新たな医療・健康産業の集積、医療費抑制、環境負荷の少ない快適な生活環境の確保



気候変動への対応 ～令和元年台風19号の被害を受けて～

脱炭素社会の実現に向け、

「2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロ」への賛同(2019.11.28)

世界102都市、国内9都市が賛同（福島県で初めて！）



SDGs 未来都市として

「バックキャスト」により、「ステークホルダー」・「こおりやま広域圏」の皆様方とともに、こおりやま圏域への「投資(ESG投資)」を呼び込みながら、「自立的好循環」による『誰一人取り残さない持続可能な地域社会』の形成を目指してまいります。

◆産学官連携で



Climate
Crisis
Management
based policy

～誰一人取り残さない持続可能な郡山を目指して～

冬



春

秋



夏

郡山市のSDGsについて

御清聴ありがとうございました。



郡山市 財務部 公有資産マネジメント課

TEL : 024-924-2051

FAX : 024-931-3245

E-mail : kouyushisan@city.Koriyama.lg.jp